

(第57回)

(1) 企業の部 (2) 一般の部

受付
番号 51

ふりがな	しぜんかんきまど			
作品の名称	自然換気窓			
ふりがな	さんきょうたてやま かぶしがいしゃ ながえかぶしがいしゃ	ふりがな	ほり たけふみ	
会社名	三協立山株式会社 株式会社ナガエ	発明者名	堀 剛文	
特許・実用・意匠 の出願状況	<input type="checkbox"/> 未出願 <input checked="" type="checkbox"/> 出願済み	出願・公開番号 特開 2018-172852	登録番号 —	外国特許他 —

特徴と要点 (必ずご記入下さい)

1) 発明の概要

自然風や建築物内外の気圧差等により自動的に開閉して自然換気が行える窓においては、障子がフリーな状態であることから、無風時に障子が停止すると、障子の開き角度が揃わず建物外観を損なうことがありました。

本発明は、自然換気状態の障子が無風状態で停止すると、障子が一定位置に停止し、外観に統一感を持たせることができるものです。

更に操作部を操作することで、障子を全開状態で維持する強制換気状態にすることも可能にしたものです。

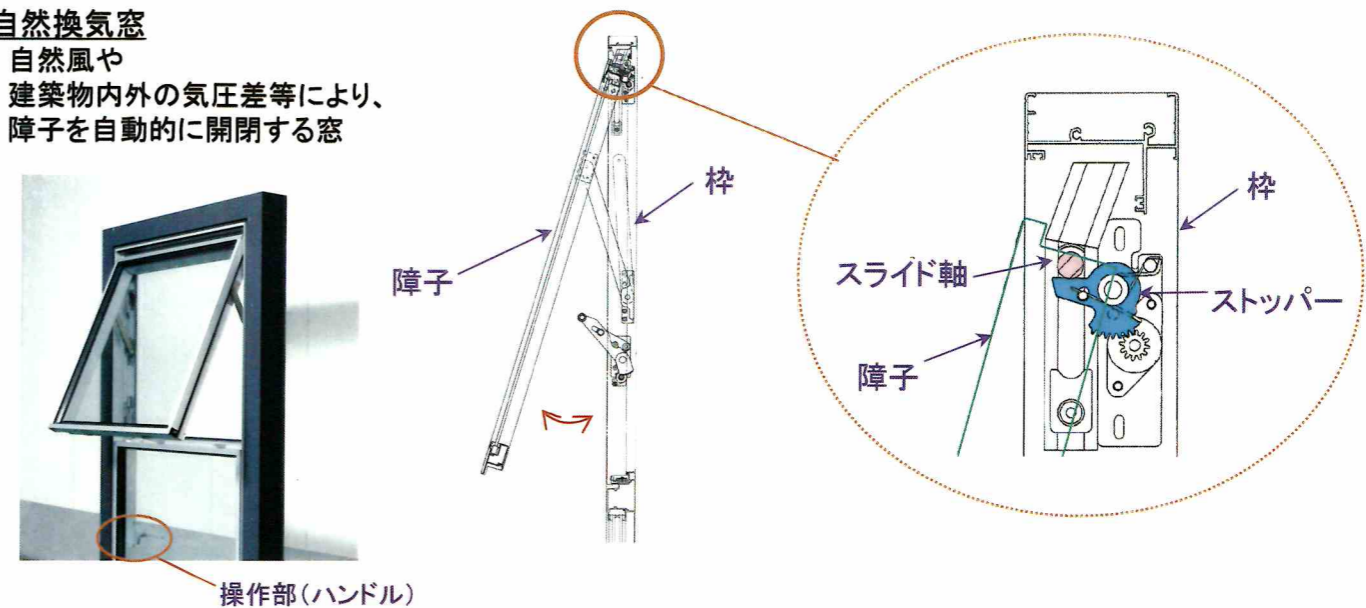
2) 特徴・効果

- 自然風や室内外の気圧差によって障子が自然に開閉し、無風状態になると障子のスライド軸が縦枠のストッパーに当接して障子を一定位置で停止させます。これにより、障子を同じ開き角度に揃えることができ、外観に統一感を持たせることができます。
- また、操作部を操作することによって、スライド軸がストッパーを超える位置まで移動(下降)すると、障子を全開状態で固定すること(強制換気状態)ができ、スライド軸を移動させる一連の動作によって、障子の状態をスムーズに切り替えることができます。

略図、図面、写真等で、簡単に特徴を記入して下さい。(※太枠内でご記入ください)

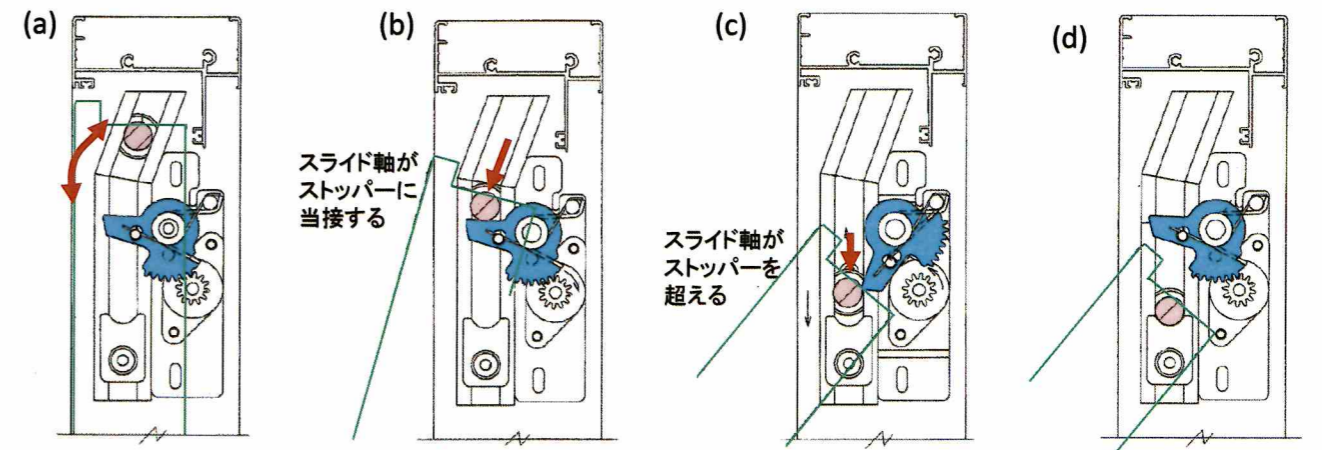
自然換気窓

自然風や建築物内外の気圧差等により、障子を自動的に開閉する窓



自然換気状態

強制換気状態



自然風や室内外の気圧差で自然に障子が開閉する。スライド軸は上下動する。

無風状態では、スライド軸がストッパーに当接し一定の位置で停止させる。(最大開き角度が一定)

操作部を操作することでスライド軸がストッパーを超える位置まで移動(下降)すると、全開状態で固定される。

【記載注意事項】

- この説明書は、審査用、展示用カードとして用いられますので必ずご記入下さい。
- 第一次審査は、この説明書のみでなされ、使用法など不明確な場合は、審査にもれることがあります。
- 従来のも(或いは方法)に比し、どこを(何を)どのようにくふうしたか、要点を判り易く図または写真でご説明下さい。
- 改良くふう箇所が多くある場合、要点をしばってご記入願います。
- この内容説明書は出品申込書と一緒に、令和元年9月20日(金)までに事務局へ提出して下さい。